



●主な仕様
 ドライバーユニット：φ40mm 特殊
 高性能マグネット
 出力音圧レベル：98dB/mW
 (1kHz)
 再生周波数帯域：20Hz～20kHz
 インピーダンス：68Ω (1kHz)
 最大許容入力：200mW
 側圧：約4.5N
 ケーブル：片出し着脱式、ストレート
 (3.0m)

質量：約280g (ケーブル除く)
 カラーバリエーション：ブラック、ブ
 ラウン、ネイビー

●資料請求先
 フルテック株式会社
 〒141-0031 東京都品川区西五
 反田7-11-1 第五花田ビル3F
 TEL03-5437-0281
<http://www.furutech.com/>

ADL H128

密閉ダイナミック型ヘッドフォン
 オープン価格 (実勢 ¥45,000 前後)

耳の形状に合わせた ユニークなデザイン

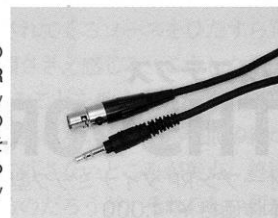
ADL (Alpha Design Labo) はフルテックのオーディオ機器ブランド。同社の技術を盛り込んだポータブルアンプやUSB DAC、ケーブル類などを展開している。ADLにはH118という密閉ダイナミック型ヘッドフォンの先行機種があったが、さらに最新の技術を盛り込み、ユニークなデザインでまとめられた上位モデルとして、本機H128が開発された。

耳の形状に合わせた逆三角形のハウジングは、無駄な空間をできるだけ少なくするので、ダイレクト感の強いサウンドが得られる。

ドライバーの振動板は、エンジニアリングプラスチックの中でも特に貴重で、加工も困難なPEEK (ポリエーテルエーテルケトン) を折り目形状で使用し、ボイスコイルと振動板にリングを挿入することで、最適な周波数特性を得ている。

フルテックのお家芸であるプラグ類は、金メッキやロジウムメッキの高級品で、ケーブルには銅コーティング特殊アルミ合金ワイヤーを使用している。

上はヘッドフォン本体へのコネクタブラグ、小型XLRタイプで非磁性ロジウムメッキ仕様、ストッパー付きなので使用中の抜けトラブルを防止している。下はφ3.5mmミニプラグ (金メッキ)



音ではなく音楽を聴かせようとする

ADLの2作目にあたるH128。試聴機はブラウン色のレザーとアルミニウム色の構成で、カジュアルかつメカニカルなビジュアルがオーディオ心を誘い、くすぐる。今回の試聴機中、側圧は強い部類に入り、またイヤークップの形状が耳に沿ったラインを描くためか、コンパクトながら装着時に存在感があり、ここは好みが見られるところだろう。

再生音はピラミッド型を形成してウエルバランス。また音場の広がりや奥行き、音像サイズなどそれらを詮索する気が起きない自然な仕上がりで、スムーズに試聴に入れた。音質傾向もきわめてナチュラルで、人工的なところや特定のピークやディップを感じない。どちらかと言えばモニター寄りの音づくりだが、それは高い次元での表情で、持ち込んだどのジャンルのソースも良い点数を獲得。オールマイティな佳作といえる。決してワイドレンジではないが、上下周波数エンドのロールオフが巧妙で、音ではなく音楽を聴かせようとする意向が感じ取れる。ワンポイント録音に含まれる多量の空気も豊かに再現し、空間とのハーモニーを楽しめたのは秀逸。